

南箕輪村議会議長 様

提出者名 笹沼 美保

議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	福祉教育常任委員会研修視察
研修・視察実施場所	ぎふ清流エリア、ちこり村、木曾おもちゃ美術館
研修・視察の期間	令和5年 11月 9日～ 11月 10日
研修・視察の成果等	<ぎふ清流エリア> 木遊館…昨年視察した際は子どもたちがいない時間帯だったが、今年は親子がたくさん利用している時間に視察することができた。見守るボランティアもしっかり配置し、安心して木に触れながら遊ぶことができ、親子の憩いの場となっていた。木工の教室やイベントも開催され、ステップアップしながら木に親しみ、知る体験ができる素晴らしい施設であった。 福祉友愛プール・アリーナ…「障がい」「高齢」をテーマに各種地域交流イベントを行っており、遠方の施設入所者にも利用してもらえるよう、団体バス利用に費用を助成する「誘客費助成事業」を実施するなど、障がい者や高齢者に優しい取り組みを行っている。パラスポーツ指導者の資格を持っている職員が運営し、イベント時などは別団体からも講師を呼ぶなどしており、初めてパラスポーツに触れる人も一緒に楽しめるよう、サポート体制がしっかり整えられていた。サウンドテーブルテニス（音の鳴るピンポン球をアイマスクをした状態で打ち合い点数を競うスポーツ）を体験し、視覚障がい者や車椅子使用者とも楽しめるスポーツで、多くの人に知ってもらえることができれば良いと感じた。

	ぎふ清流文化プラザ…昨年視察できなかった場所で、障がい者の文化芸術活動の拠点。文化にとどめず障がい者の社会参加をサポートするため、障がいある作家の作品を活用した地域企業とのコラボレーション商品に取り組んでおり、画期的であると感じた。コンサートなどのステージイベントが行われる長良川ホールはステージや客席のレイアウトが変えられる可動式で、素晴らしいホールであった。 <ちこり村> 「なぜちこり？」との思いがあり興味があったが、運営する(株)サラダコスモからの「ヨーロッパ原産のちこりの国産化を通じて、国内農家と競合しない形で農地の活性化、食料自給率の向上、高齢者の優先雇用、地域の活性化に取り組んできた」との説明に納得した。特に高齢者の優先雇用は素晴らしく、「地元のおばちゃん先生から教わる『栗きんとん絞り体験』」は大好評とのこと。お土産施設では試食・試飲の呼びかけが充実していて、味工房も試食の呼びかけをすればもっと売り上げが伸びるのでは、と感じた。食の安心・安全にも力を入れていて、無添加・無漂白もやしを開発、普及させたとのこと。 <木曽おもちゃ美術館> 木曽の木材をふんだんに使ったおもちゃが多数あり、赤ちゃんから大人まで楽しめる施設。ぎふ清流エリアの木遊館よりも対象年齢が幅広い印象の木育美術館で、こんな場所が村内にあったら、村民はもちろん村外からも多くの人が集まるだろうと思った。蕎麦打ち、機織りなどのふるさと体験もでき、歴史や文化を知ることができる施設であった。
--	---

※研修・視察終了後、議長または委員長が定めた期日までに提出すること。